

第2回

ドネーション パーティー

Donation Book

6月7日(日)

10:00~15:00

In 八幡浜市 新町ドーム

福祉のつどいと同時開催

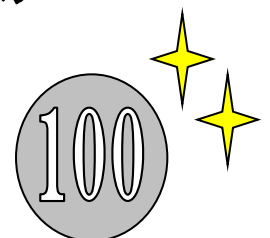


びーぶう

エントリー団体一覧

- ① 医療法人 地域活動支援センター くじら
- ② 朗読ボランティア どんぐり
- ③ 点訳サークル 竹の子会
- ④ NPO法人 えひめ子どもチャレンジ支援機構 八幡浜支部
- ⑤ 神山おやじ隊
- ⑥ YGP(八幡浜元気プロジェクト)

100円の新しい使い方提案します!!



100円の新しい使い方を提案します！！

ドネーションパーティとは？



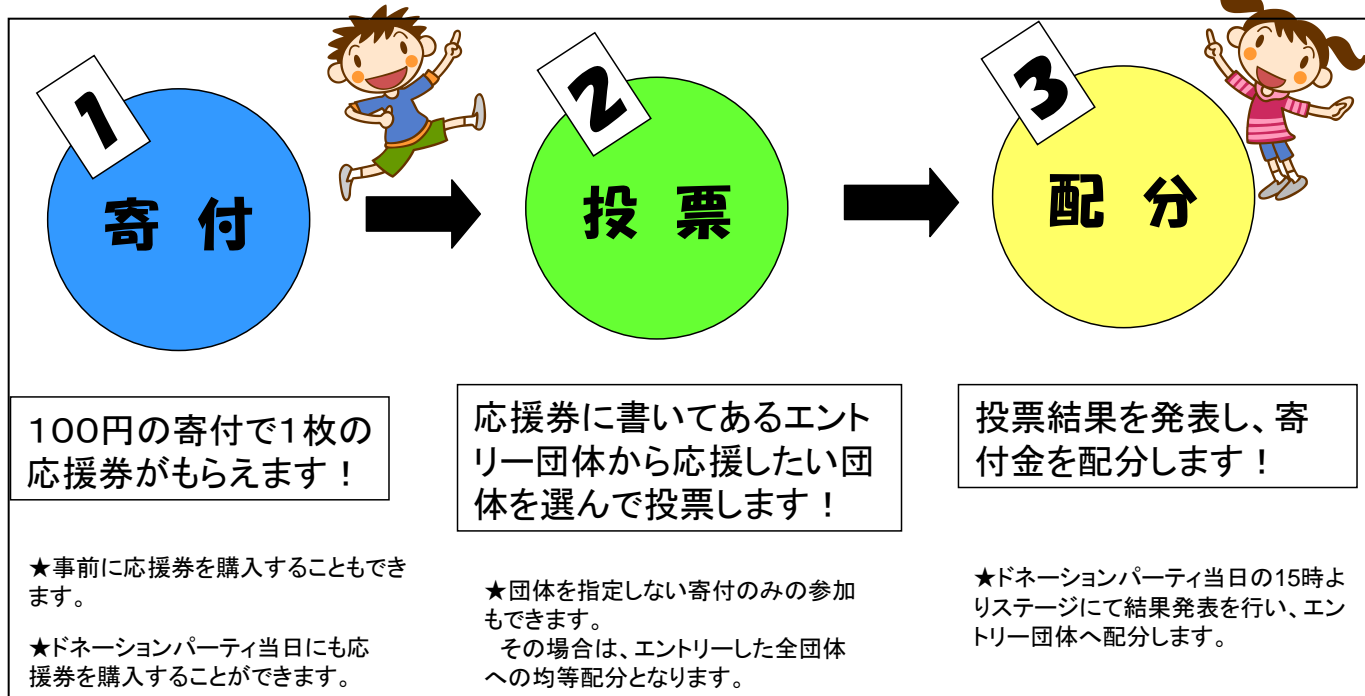
ドネーションパーティとは、地域活動団体（ボランティア団体）を民間の資金で支えるという、アメリカで始まった寄付システムの一つです。

公益的な各団体の活動は、市民生活の向上や地域の問題解決の一助になっているものの、資金不足や住民の協力のないといった課題も抱えています。このような背景から生まれた寄付システムは、団体の活動促進や責任を持って社会にサービス提供できる組織への育成につながり、寄付を行う側の住民や企業にとっては、地域貢献活動を支援する手軽で有効な手段となるなど、多くのメリットを生みます。

ドネーションパーティを通して「100円の新しい使い方」を提案していきたいとYGPは考えています。

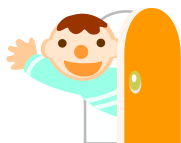
ドネーションのしくみ

事前に応援券を購入し、寄付することもできます！



- ★ 八幡浜ドネーションプロジェクトの趣旨に賛同してくださる方であれば、企業・団体・個人を問わず寄付することができます。
- ★ 「応援券」は、何口でも購入することができます。
- ★ 企業・団体からの寄付は、原則エントリー団体全体に対する寄付とします。
- ★ 「応援券」は、5/18旬彩市YGPブース、ドネーションパーティ事務局にて事前に購入し、事前投票（寄付）することができます。
- ★ 企業・団体からの寄付は、YGPもしくはドネーションパーティ事務局で受け付けます。企業・団体からの寄付については、必要に応じて領収証を発行します。

ドネブックの使い方



本ドネーションブック（ドネブック）には、エントリー団体さんの活動紹介が掲載されています。事前ドネーションもしくは当日にドネーションをする際、投票する先を決める参考にしてください。

ドネーションパーティ当日には、エントリー団体さんの工夫の凝らしたブース運営やステージ発表がございます。ご自身でエントリー団体さんとふれあって投票してくださいね。



くじらグループ

地域活動支援センター くじら



日常生活の様々な悩みや困り事 お気軽にご相談下さい

『地域で生活する』…当たり前の事ですが、これが障害者にとっては簡単にはいかない大きな問題を含んでいます。そんな問題を少しでも解消していければと考えています。

地域活動支援センターくじらは、障害者の方を中心に、ご家族や地域の方々と様々な問題について一緒に考える場として、市の委託を受けて運営をしています。障害を持った方も、障害を持たない方も、偏見や思い込みを拭き取って、優しくて住みやすい地域になる為に色々な活動をしています。

お互いに支えあう事を前提に、誰もががあるがままを受け入れられ、いきいきと生活できる地域を目指して活動しています。また、関係機関との連携を強め、誰もが安心して暮らせる為の地域ネットワークの構築も進めていきます。

活動目的

家庭や学校・職場、家族や友人など日常生活において、思い悩んで独りで抱えるのではなく、『気軽に相談できる場所』として、また障害者の方が地域生活を送る上で、少しでも『楽しみ』や『生きがい』が持てるように、本人の意思を尊重しつつ、必要な支援や援助を提供することを目的としています。

目指すまち

障害者をはじめ、子供や老人と言われる弱者に対して理解があり優しく、誰もが安心して暮らせる『チャンポンのように"個性豊かなあったか〜い"』人情味のあるまち

活動のススメ

同じ様な経験や体験を共有し分かち合う仲間が、日常の悩みや相談事を気軽に話し合い、お互いがカウンセラーとなって考えを打ち明ける『ピアカウンセリング』という活動があります。人前で話をする事が大変苦手だった人がこの活動を通して自分の意見や考えを言葉にする事が出来るようになりました。

活動内容

- ① 生活する上での不安や悩みを一緒に考え相談に応じます。
- ② ノンビリくつろいだり、みんなで楽しく過ごす『場の提供』をします。
- ③ 関係機関との連絡調整や各種の情報提供をします。
- ④ レクリエーション活動、料理教室、パソコン教室、スポーツを行います。
- ⑤ ピアカウンセリングを継続して実施しています。

寄付金の使い方

地域活動支援センターの活動に賛同して頂いた寄付金は、今後の八幡浜市における福祉活動や地域活動に活用し、地域ネットワークの構築を図る為に使わせていただきます。

興味のある方は

障害を持たれている方、またご家族や地域の方も含め、どなたでも気軽に利用になれます。『いつ来て、いつ帰ってもOK!』という地域活動支援センターくじらに是非一度足を運んでみて下さい。





朗読ボランティア どんぐり



あなたの「声」・私の「声」でボランティアを楽しもう！

私たちは見えない方や見えにくい方々のために「声」でボランティアをしているサークルです。

今の情報にあふれたこの世の中で、もし、目が見えなくなったら...想像するだけで途方にくれてしまいます。そんな状況にある方々に少しでも何か手伝うことができたなら...、何か私達でもできるはず...私達のもっている「声」と「時間」と「心」を使ってできるボランティアです。「見えない」、「見えにくい」方々の「目のかわり」を、ちょっと、してみませんか！！

活動目的

視覚に障害のある方々のために、文字で提供されている様々な情報を「音声」で伝えることで「情報のバリアフリー化」をめざしています。

また、一緒に活動する機会をもつことで、見えないことへの理解を深め、すべての人の社会生活のバリアフリーをめざしています。

さらに、つちかった表現力を「読み聞かせ活動」に生かし、小学校や福祉施設を訪問し、読書の意欲を高めたり、情緒活動を豊かにするお手伝いをしています。

活動内容

- ① 毎月、声の広報(市の広報や議会だよりなどを録音したテープやCD)を作成
- ② テープ・CD利用者(視覚障害者)からの依頼によるプライベートサービス
- ③ 利用者(視覚障害者)への市内情報のメール配信
- ④ 利用者(視覚障害者)との交流活動
- ⑤ 小学校や福祉施設での読み聞かせ活動
- ☆ その他、研修会への参加や他サークルの活動への参加など、様々な活動をしています。

目指すまち

見えても、見えなくても、見えにくくても、みんな元気に楽しくらせるまち！

活動のススメ

おなかから声をだすだけで、元気になります。ストレスも発散！若返ります！サークル内の研修でパソコンを使えるようになった人もいます。いろいろな出会いや体験であなたの世界がひろがります☆思ってもみなかった〇〇があるかも☆

寄付金の使い方

録音機器を整備したり、奉仕活動に使わせていただきます。

7月からの朗読(音声訳)ボランティア養成講座にご参加ください。

まずは、社協(23-2940)またはどんぐりメールアドレスまでご連絡を！

興味のある方は

●代表者 二宮園枝 ●設立年月 平成8年11月 ●会員数 34人

●TEL 0894-22-4063 ●メール donguri565gyawahama@yahoo.co.jp



点訳サークル 竹の子会



点訳もパソコンで！ほんの少しの時間を生かしませんか？

点字は、手打ちで一点一点書くイメージですが、今はパソコンでも書く時代になり、修正も簡単で10分20分の積み重ねで完成できるようになりました。

でも、コツコツ地道にしていくことは変わりありません。地味な活動ですが、いつまでも残りますので充実感・達成感があります。

全国に出版されている全てのものが点訳されることを目指し、ぜひ、一緒に活動しましょう！

活動目的

一冊でも多く点字出版物をつくり、点訳を通して視覚障害者との交流をはかり、社会参加、福祉・文化の向上の手助けとなればと考えています。

活動内容

- 図書 の点訳・校正
 - 公文書等の点訳
 - 点訳の定期学習会
 - 視覚障害者との交流
 - 点訳奉仕員養成講習協力
 - 中途視覚障害者の在宅点字指導
 - 小学校等への点字指導
 - 点訳学習
- その他、社会福祉ボランティア事業や他サークルの活動への参加

目指すまち

すべての人が安心して暮らせ、安全に歩ける(外出できる)まち！情報の格差のないまち！

活動のススメ

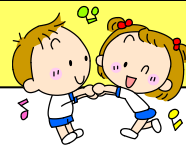
会員同士の交流や視覚障害者との交流を通して、新たな発見、知識の広がりがあります。パソコン点訳は、手や指のリハビリに有効ですよ！そして視覚障害者のおおかけで足腰は鍛えます。

寄付金の使い方

今年は点訳絵本の作成をしているので、シールやその他の材料に使いたいです。

興味のある方は

点訳奉仕員養成講習(社協主催・広報にて案内)を受講していただくか、同レベルの個人指導を受けてください。いつでも出張講習いたします。



えひめ子ども チャレンジ支援機構 八幡浜支部



明日へはばたく子どもたちのチャレンジを応援する！

私たちの希望は、子どもが自分で進む道を見つけ出すこと！今までは大人がいろいろな場面を設置・企画して子どもたちにサービスしながら様々な体験の場を提供してきたけれども、それと共に子どもたち自身が自分たちで創造し、発見し、企画し、汗をかいて成し遂げる、そんな場も必要なんじゃないかな？子どもたちは行動力もあるし、強制力もあるし、協働力も十分にある。そんな子どもたちのチャレンジ精神を裏方や資金面でバックアップして達成感を味わわせてあげたい。子どもの幸せを願うことが、子どもの前を一生懸命走ることではない。子どもの後ろから追っかけるようなことをまた素敵だと思いませんか？

目指すまち

人と人のネットワークが生み出すパワーで八幡浜が元気になるといいな！

活動のススメ

小学生(5・6年生)、中学生、高校生の異年齢の子どもたちでグループをつくることでお互いが成長していけること。また自分たちのチャレンジしたいことを大人の力を借りて実践できること。

寄付金の使い方

子どもたちがチャレンジするための活動資金

興味のある方は

下記連絡先にご一報ください。
詳細はHPをご覧くださいね。

活動目的

3つの「シヨク」の推進を図ること。

- ① 職業観や勤労観の育成の「職」(仕事にチャレンジ、未来を考える等)
- ② 健全な食生活への意識・態度形成の「食」(食材を探す、作る等)
- ③ 対人関係能力の向上やボランティア活動の「触」(人と触れ合う、話す、ボランティアを試みる等)

活動内容

「みんなでチャレンジ みんなのチャレンジ」活動の支援

- ① チャレンジ実施計画(自分たちで何にチャレンジするか決定する)
- ② チャレンジ活動実施(いくつかは班分けしてチャレンジ活動を実践する)
- ③ チャレンジ活動報告(活動を振り返り、成果を発表する)

神山おやじ隊



地域の子どもは地域の手で育てよう！

いいことしたらほめてあげよう！悪いことしたら怒ろうよ！子育てを母親まかせにするな！立ち上がれおやじ隊！地域の子どもは地域で育もう！
子どもたちと共に歩き、共に探し、共に笑い、共に感じ、共に泣き、共に抱き、共に築き、共に願おう！
そして、子どもたちから元気をもらい、おやじ達の残り少ない？未来のために、地域の未来のために、おやじパワー全開ダー！！今、神山おやじ隊が熱い☆

活動目的

子どもたちの笑顔、父兄の笑顔、地域の皆さんの笑顔、そしておやじ達の笑顔がここにある。
何よりも、みんなの笑顔が引き出せる。そんなイベントを計画して行きたい。
今年もおやじ達は楽しむぞ～！！

活動内容

- ① 夏休み中のデーキャンプや小学校バザーへの協力、地区福祉の集いでのもちつき、その他子どもたちとのふれあい交流会等の実施
- ② 各種ボート大会や綱引大会等へ参加しての隊のPRの実施
- ③ 隊員の体力増強のため、ソフトバレーボールチーム「おやじ～ず」結成。毎週1回汗を流している。

目指すまち

子どもが安心して外で遊べるような地域力のあるまち

活動のススメ

PTA活動でもなく、公民館活動でもない、地域のおやじ達の自主的集合体で、子どもたちとの交流と地域の活性化を目指し、日々自分たちも楽しんでやっております。

寄付金の使い方

子どもたちのキャンプ等、活動運営資金にあてたい！決しておやじ達の酒代には使いません。誓いますー！！

隊員条件は、神山地区内に居住していることのみです。
賛助隊員は条件なし。下記に連絡を！

興味のある方は



YGP

八幡浜元気プロジェクト



人の元気をまちの元気につなげる

「八幡浜を元気にしたい」、「ボランティアをしたい」…そんな熱い思いを持った若者が集まり活動しているのが「YGP」(八幡浜元気プロジェクト)です。「住民同士の横のつながり」をつくることで、「地域の活性化」につながることを信じ、YGP自身がボランティア活動をするのはもちろん、YGPがきっかけとなり、地域活動(ボランティア活動)が地域の中で増えることを目指しています。

去年の設立総会から1年が経ち、日々「まちづくり集団」へと進化しています。今年の3月15日には八幡浜高校商業研究部「A★KIND」と一般市民の方々と協力して(八幡浜で頑張っている人を紹介している情報誌)『八幡浜笑人』を発行することができました。今後も様々な活動を展開していきます。

活動目的

「八幡浜を元気にすること」
その手法として、地域活動(ボランティア活動)を通して、住民の地域参加、また参加者自身の活発化、さらに地域の諸問題の解決へとつなげようと考えています。

活動内容

- ① 八幡浜の清掃・美化・リサイクル活動を推進する活動
- ② 既存の祭り(行事)を盛り上げ、新しい祭り(行事)を創造する活動
- ③ 高齢者・子ども・障がい者を含め、住民を元気にする活動
- ④ 世代間交流の促進をする活動
- ⑤ 街で行われる地域活動(ボランティア活動)を活発化する活動
- ⑥ 中心商店街を活発化させる活動
- ⑦ 第1次産業(地場産業)を活発化させる活動

興味のある方は

目指すまち

地域活動(ボランティア活動)が活発なまち
地域資源を活かしたまち
住民一人ひとりが真に豊かなまち

活動のススメ

YGPの活動は多岐に渡る分、自分の視野を広げたり、新しい人に出会う機会が多くあります。年齢も職業もバラバラな個性豊かなメンバーのもとワイワイと活動できます。

寄付金の使い方

「八幡浜を元気にするプロジェクト」の事業費
当団体の運営費全般

YGPには、「正会員」として活動に積極的に関わる方法、また「サポーター」として活動のサポート役として関わる方法の2つがあります。年齢制限はありませんので、八幡浜に在住または勤務している方であれば入会できます。お気軽にメール・電話くださいね。



第1回ドネパのエントリー団体より 「ありがとうレポート」

寄付金をいただけなければ、せっかくお借りした写真や資料も見づらい白黒の印刷になっていたと思います。記念誌を見て下さった方、とりわけ、聴覚障害者の方が、懐かしい写真に見入って思い出話に花を咲かせておられる姿を見て、私たちも「グレードアップしてよかった！」と嬉しい気持ちになりました。やはりカラー印刷というのは見てわかる工夫の1つなのだとは再認識しました。

あゆみの会を応援して下さった皆様の気持ちにこたえるべく、これからも地域に根ざした活動を続け、聴覚障害者の方々と共に「あゆむ」「あゆみの会」でありたいと思います。

あゆみ

今回購入した体重体組計を活用され、利用される方々が少しでも自分の体について考える機会になればと考えております。

物品は大切に活用させていただきます。

ご寄付をして頂いた皆さま、ありがとうございました。
くじら

なんと言っても会員全員が音声訳奉仕者として意欲があり、技術向上を目指している人ばかりです。各々の得意分野で力を発揮しております。写真は、老人福祉施設、グループホームで一緒に楽しんでいる一コマですが、毎回新しい発見や喜びがあり、介護にかかわっておられるプロの方達から「あの人が大きな声を出して一緒に歌ったよ」とか「あら！身体全体の動かして表情が違ってきた」とか、とても嬉しい言葉を聞くことができます。全員自身励みとなり、今後も続けて頑張ろうという元気をいただいています。

どんぐり

今まであった視聴覚センターからの補助が今年からなくなり、自己負担が増えていく中で、少しでも会員の負担を減らすことができよかったです。

陶芸では、手の感触を楽しんでもらい、つくる喜び、できあがった時の喜びをみんなに分ち合い、いつまでも残るもので喜ばれました。次は是非傑作の展示会を！！

竹の子会

子どもチャレンジ支援機構の活動については、基本的には会員の会費及び参加者の負担金によって活動をしているため、会議打合わせや活動計画の打合わせ会を会場使用料が余りかからない、公民館や保健センター等で実施していたが、今年度は、寄付金を活用させていただき、伊方町「瀬戸アグリピア」において、実施計画の打合わせ会を一泊二日で行なうことができた。

公民館とは違って、施設も充実しており、子どもたちの交流はもろんのこと、会員同士の親睦も今まで以上に深めることができた。

今後も、ドネーションパーティー等の寄付を活用させていただければ、子どもたちの自己負担の軽減にもつながり、より多くの子どもたちが参加しやすくなり、活動に役立つため、来年度もぜひ、ドネーションパーティーを実施してもらいたい。小チャレ

数年前からスタッフ不足により、八代中や高校生(八高・八工高・川高)にボランティアスタッフとして参加を呼びかけていますが、今年は中高生あわせて85人の希望者があり、おやじスタッフ35名とで120名のスタッフで運営をしました。スタッフが多くて大変でしたが、スタッフの飲み物や夕食等に思わぬ経費が必要となったため、この寄付金を活用させていただきました。特に、お化け屋敷のお化けスタッフは飲み物なしでは、とても耐えられない暑さで大変でしたので、本当に助かりました。それでも満足いくような接待はできませんでしたが、気持ちのいい中高生の皆さんで本当に楽しく、一緒にイベントを成功させることができ、大変感謝しています。ドネパに寄付して頂いた市民の皆さん、ボランティアスタッフとして協力してくださった中高生の皆さん、

本当にありがとうございました。おやじ隊



第1回ドネーションパーティー エントリー団体のみなさん、初めての試みにもかかわらずご参加ありがとうございました。こうして2回目を開催できるのもみなさんのご理解とあたたかいご支援のおかげです。みなさんからの貴重な意見を踏まえ、今回の「ドネーションパーティー2009」はドネーションパーティーという言葉がたくさんの方々に広め、八幡浜で活動している団体をもっと知っていただくと同時にどのような形でもかまわないのでその団体と関わっていただくことがねらいです。地域のみなさん！八幡浜にはこんなにあたたかい団体がたくさんあります。あなたの気持ちのこもった100円の応援券をお待ちしています。

YGP(八幡浜元気プロジェクト)

世代間交流事業 責任者 鈴木 磨美

佐田岬から見た八幡浜

私のふるさととは、四国最西端の伊方町(旧三崎町)平(ひら)磯(いそ)。聞いたこともなければ、訪れたこともない所でしょう。人の出入りの少ない小さな小さな郷(さと)ですから。幼い頃から八幡浜は、人情深く、活気にあふれたあこがれの街でした。35年も前のことです。まだ夜が明けきらないころ、我が家を出発し、歩いて峠を越え、バスを乗り継ぎ、定期船八幡丸に揺られるなどして、片道3時間を越える道のり。しかしそれも苦になりません。あこがれの八幡浜に行けることは、1年に1回あるかないかでしたから。

今の市役所・地方局あたりはにぎやかな港で、新町アーケード商店街、フジ、いずみで買い物や食事をするのが大きな楽しみでした。

私にとってそんな八幡浜でしたが、ここ10年ほどは通過点のようになっていました。どうしてでしょうか。

ところが2年前「YGP:八幡浜元気プロジェクト」と「子チャレ:えひめ子どもチャレンジ支援機構八幡浜支部」の人たちとの出会いが、再び八幡浜に目を向けるきっかけとなりました。八幡浜を心から愛し、なくしてはいけない大切なものを引き継ぎ、新しい風を吹かせようとしている本当にすてきな人たちです。この出会いをとおして、そのほかの人たちの思いや動きも感じられるようになりました。ドネーションパーティーがこれほど盛り上がることはすごいことだと思います。まさに幼き頃の八幡浜の風に似ているような。「まちは人なり」ですね。

ちょうど同じ頃、私のふるさとでも「喜(き)久家(くや)プロジェクト」がスタートしました。「郷(さと)の再生と創生」をめざし、若者ボランティアを国内外から受け入れ、一緒に郷づくりに取り組んでいます。若者たちは、空き家となっていた家で共同生活をしながら、農作業の手伝い、異文化交流、清掃活動、学校訪問などを行っています。この2年間で19名の外国人と50名の日本の若者が参加してくれました。また5月から9月にかけて台湾・アメリカ・イタリア・エストニアの若者が参加する予定です。

八幡浜でおこっていることと佐田岬の平磯でおこっていることには、共通点があります。1つは、夢と楽しみを持った生き生きとした人が地域に多いこと。もう1つは、地域の良さを生かしたオンリーワンの活動をめざしていること。

ぜひこういった人や地域をつなげていきましょう。その先には、明るいふるさとの未来があるような気がします。 Yes, We can.

喜久家プロジェクト 浅野 長武

あさの おさむ
西宇和郡伊方町(旧三崎町)平磯出身。
1968(昭和43)年1月生まれ、41歳。
現在、伊方町立三崎中学校社会科教諭。
平成17年から3年間、国立大洲青少年交流の家
(旧大洲青年の家)に勤務し、社会教育の重要性を感じ、まちづくり・郷づくりの活動に関わっている。
双海町の若松進一さんを師とあおぐ。

